【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/地域看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域看護学概論	NSP21_001	必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
須田 由紀 他	305	yuki.suda	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	あらゆるライフサイクル・健康レベルの人々の暮らしや生活するコミュニティの特徴を理解し、生活の場で展開される地域看護活動の理念・目的・対象・活動の特徴・実際について学ぶ。また、時代背景の影響を受けながら生活してきた人々の健康課題に応じた地域看護活動の変遷について学ぶ。				
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習) ☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技 ☐ PBL ☐ 反転授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ その他 ()				
学習上の助言	地域で生活するあらゆる人々を対象とした地域看護活動に関する基本的な学習を行います。ご自身の生活体験を重ねると共に、あらゆる年代の方々とお話させていただく機会を大切にしてください。				
教科書	これからの地域看護学 多様性と包括性をふまえた看護実践に向けて / 編：渡邊多恵子・関美雪・望月宗一郎ほか / 朝倉書店 / 2025				
参考書	特に指定はありませんが、必要時は講義中に紹介します。				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	地域看護活動に関心を持ち、主体的に学修に取り組むことができる		HSU(1)(2)、NS(1)(5)		
②	地域看護活動の理念・目的について説明できる		HSU(2)(4)、NS(1)(2)(3)(4)(5)		
③	地域看護活動の対象の特徴について説明できる		HSU(3)、NS(1)(3)		
④	地域看護活動の内容やその特徴について説明できる		HSU(4)、NS(1)(2)(3)(4)(5)		
⑤	これからの地域看護活動に求められる看護職としての役割について、自身の言葉で整理できる。		HSU(5)(6)、NS(2)(3)(4)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	地域看護活動の理念・目的 社会のニーズの変化と地域・在宅看護の変遷	講義・演習	教科書の該当箇所(P14-33)を読んで講義に臨み、復習すること	4	
2	地域看護活動の対象	講義・演習	教科書の該当箇所(P34-64)を読んで講義に臨み、復習すること	4	
3	地域看護活動の特徴	講義・演習	教科書の該当箇所(P65-76)を読んで講義に臨み、復習すること	4	
4	地域看護活動の変遷	講義・演習	教科書の該当箇所(P2-13)を読んで講義に臨み、復習すること	4	
5	地域看護活動の実際：母子保健	講義・演習	教科書の該当箇所(P78-100, P111-119)を読んで講義に臨み、復習すること	4	
6	地域看護活動の実際：成人保健	講義・演習	教科書の該当箇所(P78-100, 108-111)を読んで講義に臨み、復習すること	4	
7	地域看護活動の実際：高齢者保健	講義・演習	教科書の該当箇所(P78-100, P119-125)を読んで講義に臨み、復習すること	4	
8	地域看護活動の実際：市町村保健師の活動の実際と看護職に望むこと(ゲスト講師)	講義・演習	市町村保健師の業務内容・役割について調べ、講師への質問を考えた上で講義に臨むこと	4	
9	地域看護活動の実際：難病・障がい・歯科保健	講義・演習	教科書の該当箇所(P104-107)を読んで講義に臨み、復習すること	4	
10	地域看護活動の実際：歯科医師の活動の実際と看護職に望むこと(ゲスト講師)	講義・演習	歯科医師の業務内容・役割について調べ、講師への質問を考えた上で講義に臨むこと	4	
11	地域看護活動の実際：精神・感染症保健	講義・演習	教科書の該当箇所(P101-104, 126-132)を読んで講義に臨み、復習すること	4	

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/地域看護学】

12	地域看護活動の実際：訪問看護	講義・演習	訪問看護について調べた上で講義に臨み、復習すること	4			
13	地域看護活動の実際：多職種連携	講義・演習	地域包括ケア・多職種連携について調べた上で講義に臨み、復習すること	4			
14	地域看護活動の実際：活用できる社会資源	講義・演習	フォーマル・インフォーマルサービスについて調べた上で講義に臨み、復習すること	4			
15	地域看護活動のまとめ・今後の展望	講義・演習	講義での学びを振り返り、自身の考えを整理する	4			
試	試験・課題レポートの記述						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		60	10	0	20	10	100
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	0	10	0	10	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	10	0	10
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	試験は筆記試験とし、講義・演習内容の修得状況を確認するものである。試験範囲は、講義・演習で扱った内容全てとする。内容が不消化であった場合には、講義毎に積極的に質問することを期待する。				試験後、問題とその解答についてコメントする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	提示した課題に取り組み提出する。				課題は添削したものを返却し、講義時間内でフィードバックしていく。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①	✓	提示した課題に取り組み提出する。自身の学びの過程・成果をファイリングし、講義終了時に内容を振り返る中で、自身の中に学びとして確実に落とし込めるようにする。				課題は添削したものを返却し、講義時間内でフィードバックしていく。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	地域看護活動についての知識を積み上げながら学習を深められるような講義構成となっているため、全日程の出席を原則とする。特別な理由のない欠席は、取組みの姿勢が不良と捉える。				講義時間内でフィードバックしていく。遅刻・途中退席・欠席が続く場合には個別指導する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	病院看護師、行政保健師としての勤務経験を有する。						
実践的授業の内容	担当教員の病院や自治体での勤務経験を活かし、現場における具体的な事例を交えながら講義を進める。						
その他	講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で臨むことを重んじる。学生の理解度に応じ、講義・演習の速度や順番を調整する可能性がある。						